



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第537号

2022年2月7日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

八千代市のソーラーシェアリングを考える

農業を営みながら太陽光による発電を行うことができるソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）が注目を集めています。栽培できる作物は、稲、サツマイモ、里芋、キャベツ、レタス、梨、イチゴ、ネギ、エンドウ、ナス、トウモロコシ等々多数です。

環境省は日本の農地全体がソーラーパネルで発電した場合、年間発電量は2兆8000億キロワットを作り出すことができると試算しています。これは日本の年間発電量の2.3倍の能力を持っています。これを使わない手はありません。

八千代市で先進的にソーラーシェアリングに取り組んでいる保品地区のIさんにお話を伺いました。

農地を守りながら持続可能な農業ができる

Iさんがソーラーシェアリングを決意したのは、2011年の福島原発事故に由来しています。親を説得することと、農地転用のための許可を得るために農業委員会に提出する膨大な計画書の作成が一苦勞だったと語っています。融資の問題。農地以外の支柱等の面積の計算。収益が上がるという専門家による知見書の添付など。ファイル1冊分相当の書類を作成してやっと合格。

2014年9月からソーラーが開始されました。パネルは太陽の位置に合わせて可動する効率の良い仕掛けです。Iさんのパイオニア精神が発揮されたものです。電動自動車も2台活躍しています。3反5畝（約3500㎡）のソーラーシェアリングの農地を八千代市少年自然の家の近くで見学することができます。

環境危機の救世主にも

今ではソーラーシェアリングは農地を守りながら、売電による収入が基本給になり、農業だけでは食べていかれない農家にとって役立っています。更にCO₂を排出しないだけでなく、農地はCO₂を土に吸収させる重要な産業です。

パネルを牛舎やビニルハウスの上に設置して蓄電池を併用すれば、ソーラーシェアリングの可能性は広がります。

八千代市の農業者が抱えている問題や制約を取り払うために、ソーラーシェアリングの推進企画に全力を尽くすよう要望していきます。



ソーラーシェアリング